

# レーザー距離計 DISTO D2 の測定データを Excel シートに保存するための操作手順 (Windows 10 搭載のアプリ DISTO transfer PC と Bluetooth を使用)

Y. Nishiyama

Since 19<sup>th</sup> Jan 2017

Update 26<sup>th</sup> Mar 2017

1. レーザー距離計 DISTO D2 に電源を入れる。

ON DIST (赤色) のボタンを押します。

2. Bluetooth 設定

PC の電源、ログオン

[Bluetooth デバイスの管理]画面に入る。

[何でも聞いてください] に[Bluetooth 設定]と入力 (または音声入力) する。

または、スタートボタン (左下隅) をクリックし、歯車アイコン (設定) をクリックし、  
[デバイス]をクリックし、[Bluetooth]をクリックする。

(1) [ペアリング済み] のものがあれば、その上をクリックすると[デバイスの削除] が表示される。

[デバイスの削除] をクリックすると、[このデバイスを削除しますか?] が表示される。

[はい] をクリックする。

(2) [ペアリングの準備完了] が表示される。その上をクリックすると[ペアリング] が表示される。

[ペアリング] をクリックする。

(3) [接続済み] が表示される。

この時、レーザー距離計 DISTO D2 に接続のしるしが表示される。

注意!

[Bluetooth デバイスの管理] 画面は前回に処理した状態が残っているので、必ずしもその状態が保持されているわけではありません。

ペアリングできない場合、DISTO D2 の Bluetooth ON/OFF が効いていない可能性があります。青色のボタンを長押し (2 秒以上) すると、BLUE ON となりますので、これで DISTO D2 から PC の方へ Bluetooth が転送されたこととなります。青色のボタンを短く押すと i 240 などのエラーメッセージになります。



### 3. DISTO transfer PC 起動

[Active Leica DISTO] 画面があるので OK をクリックする。

接続されたシリアル番号を確認する。DISTO 63811956 のように表示される。

Excel ファイル (Book1.xlsx) が自動的に立ち上がる。

Excel ファイルが立ち上がらなければ、自分で Excel ファイル (新規) を開く。

Settings タブで Start Microsoft Excel automatically when starting にチェックを入れると次回からは自動的に Excel が立ち上がる。

(必須) Excel シート上の任意のセル (たとえば 1 行目 A 列) をクリックする。(これは、特に重要です。クリックしておかないと、別の場所にデータが保存されていきます。)

クリックしたそのセルから縦方向にデータが保存される。

別の列に保存したければ、別の列のセルをクリックすること。

### 4. DISTO D2 連続測定にする。

ON DIST (赤色) ボタンを長押し (2 秒以上) します。

### 5. 連続測定の終了

ON DIST (赤色) ボタンを一回押します。

### 6. 別の Excel ファイルに時刻付きデータを保存する。

DISTO transfer PC の Measurement Record タブを開く

Run Excel... ボタンを押す

Disto.csv というファイル名で csv 形式のファイルができる。

ファイル名を変更し、xlsx 形式で保存しなす。たとえば Disto26Mar2017.xlsx

計測時刻 HH:MM:SS と距離データが保存される。

15:12:33            0            5.363 m

### 7. DISTO D2 の電源を切る

CLEAR OFF を数回押す。

最後は長押し (2 秒以上) します。

### 8. DISTO transferPC を閉じる

### 9. Excel ファイルの閲覧 (2つのファイル)

データだけのファイル (Book1.xlsx)

時刻付きデータファイル (Disto.xlsx)

### 10. 閲覧後、Excel を閉じる。